TAKATORI IR REPORT

第59期 株主通信

平成26年10月1日~平成27年9月30日



株式会社 午 九 上 リ

Global Innovation "Plus One"

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業年度における経済状況は、中国においては中長期的減速局面にあり成長が 鈍化しているものの、米国においては底堅い雇用や企業収益を背景に、総じて緩 やかな回復基調が継続する状況となりました。

このような経済環境の下、当事業年度の実績につきましては、製造コストの低減 及び諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、当事業年度に見込んでいた液晶製造 装置の受注が予想より後方にずれ込み、売上に計上できなかったこと及び、棚卸 資産に関して評価損を計上したことなどの理由により、当期純損失を計上すること となりました。

翌事業年度におきましては、益々厳しさを増すグローバル競争を勝ち抜くため、 引続き原価力の強化を重要課題のひとつと位置付け、海外調達比率を高めるなど 更なる高収益体質づくりの推進を目指してまいります。また、ユーザーニーズを



代表取締役社長北村吉郎

先取りした新規特徴製品の開発、高精度・高品質を目指した高付加価値製品の開発及び将来成長が期待できる製品の創出を行う「開発先行型企業」を目指すとともに、役員・社員が一丸となり売上高の維持・収益の確立に努め、更なる会社の発展に貢献してまいります。 株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

創業者髙鳥王昌氏逝去について



《略歴》

大正14年3月 新潟県生まれ

昭和25年5月 髙島機械工具店創業

昭和31年10月 (株)高鳥機械製作所設立 代表取締役社長に就任

昭和61年10月 ㈱タカトリに社名変更

平成 5 年 4 月 黄綬褒章受章

平成14年6月 代表取締役会長に就任

平成22年10月 奈良新聞文化賞受賞

平成25年 4 月 旭日小綬章受章

当社の創業者であり、代表取締役会長の髙鳥王昌氏が平成27年11月15日(享年91歳)に逝去いたしました。 生前のご厚誼に深謝し、謹んでご報告申し上げます。

高鳥王昌氏は、当社を昭和31年に設立後、世界初の繊維機械を開発するなど60年の長きにわたり世界に誇れる産業機械メーカーとして、世の中の役に立つモノづくりの礎を築き上げました。

故人が生前に皆様より賜りましたご厚誼に対し、心より御礼申し上げます。

当事業年度における世界経済は、米国では雇用拡大を背景に個人消費が景気拡大を主導しており、欧州においてはギリシャ問題による悪化リスクはあるものの、ユーロ安を追い風に輸出が増加し、景気の持ち直しの動きが見られるようになりました。一方、中国では過剰生産力などの構造的な問題が表面化し経済成長が一段と減速化しており、ロシアやブラジル、インドネシアなどの一部の新興諸国においては景気の悪化が顕在化するなど、世界経済全体としては、総じて低調に推移いたしました。

一方、わが国経済は、政府による景気対策の効果により市場の円安・株高基調が継続し、雇用情勢や輸出が持ち直しを見せたものの、円安による物価の上昇などにより個人消費が落ち込み、設備投資が足踏みしたことでマイナス成長となり、消費税増税に伴う落ち込みから持ち直しつつあった日本経済が、再び停滞している状況であります。

■ 売上高構成比



このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、新興国主体に成長が続くスマートフォン(高機能携帯電話)向けに加え、電装化が進む自動車向けの需要拡大等からプラス成長が続いているものの、スマートフォンでは需要の新興国シフトや最終製品メーカー間の競争激化等を受けた一層の価格低下に加え、買替サイクル長期化による先進国での需要減速が顕在化しつつあり、市場環境は楽観視できない状況となりました。

このような状況の中、電子機器事業につきましては一部で堅調さが見られたものの、全体的には売上高が大幅に減少するなど低調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましても低調に推移いたしました。

雷子機器事業

液晶製造機器

液晶製造機器では、スマートフォン(高機能携帯電話)及びタブレット等の高機能携帯端末市場は堅調であったものの、国内外の大手液

晶パネルメーカー及びEMSメーカー(受託生産企業)が設備投資を先送りしたことにより、小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。



MWS(マルチワイヤーソー)

MWS(マルチワイヤーソー)では、LED関連製品市場の装置需要が依然として回復しない状況が続きました。また、前事業年度においては、海外客先より約30億円の大口受注があり販売に大きく寄与い

たしましたが、当事業年度においては、スマートフォン基幹部品加工用の切断装置の受注を 見込んでいたものの、基幹部品の採用が予想 どおりに進まなかったことが影響し、低調に 推移いたしました。このような状況の中、販 売額は大幅に減少いたしました。



半導体製造機器

半導体製造機器では、省エネルギーで注目を集めているパワー半導体メーカー、車載用ICチップメーカー及びスマートフォン(高機能

携帯電話)関連の国内外のチップメーカーからの装置需要が好調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。



繊維機器事業

アパレル業界においては、長引く経済不況の影響で設備の更新・増設が先送りされている状況が依然として続いていることから、国内外ともに低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年9月30日現在)	前期 (平成26年9月30日現在)
 資産の部		
流動資産	4,844,367	7,321,477
固定資産	3,107,566	3,295,541
有形固定資産	2,493,184	2,570,451
無形固定資産	15,526	15,807
投資その他の資産	598,855	709,282
資産合計	7,951,933	10,617,018

	(丰位:113)	
当期 (平成27年9月30日現在)	前期 (平成26年9月30日現在)	
2,950,991	5,353,621	
504,162	592,930	
3,455,153	5,946,551	
4,482,729	4,662,411 963,230	
963,230		
1,352,321	1,352,321	
2,184,486	2,364,167	
△17,308	△17,308	
14,049	8,055	
4,496,779	4,670,466	
7,951,933	10,617,018	
	2,950,991 504,162 3,455,153 4,482,729 963,230 1,352,321 2,184,486 △17,308 14,049 4,496,779	

損益計算書

	1 1		
科目	当期 (平成26年10月 1 日から 平成27年 9 月30日まで)	前期 (平成25年10月 1 日から 平成26年 9 月30日まで)	
売上高	6,161,854	10,302,001	
売上原価	5,033,143	8,363,142	
売上総利益	1,128,711	1,938,858	
販売費及び一般管理費	1,399,723	1,649,738	
営業利益又は営業損失(△)	△271,011	289,120	
営業外収益	151,994	153,047	
営業外費用	17,675	19,543	
経常利益又は経常損失(△)	△136,692	422,623	
特別利益	113,803	1,337	
特別損失	514	4,488	
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△23,403	419,473	
法人税、住民税及び事業税	3,506	3,747	
法人税等調整額	87,246	△6,656	
当期純利益又は当期純損失(△)	△114,155	422,381	

(単位: 千円) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	(単位・十円)
当期 (平成26年10月 1 日から 平成27年 9 月30日まで)	前期 (平成25年10月 1 日から 平成26年 9 月30日まで)
1,078,219	△645,353
141,995	338,441
△1,124,660	1,331,778
26	29
95,580	1,024,895
1,514,052	489,157
1,609,632	1,514,052
	(平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで) 1,078,219 141,995 △1,124,660 26 95,580 1,514,052

◆CISMA中国国際縫製機械展示会

中国上海で開催されたCISMA展にて、当社とライセンス契約を結んでいるOshima社のブースでアパレル自動裁断機(TAC-208TA・TAC-ST(新機種))を展示いたしました。世界各国の縫製品メーカーが見学され、商談を行いました。



■医療機器事業

平成27年6月

「第一種医療機器製造販売業許可証」、「医療機器製造業登録証」を奈良県庁より受領し、 医療機器事業へ本格的に参入いたします。



第一種医療機器製造販売業許可証

■新補助金採択

平成27年6月 平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革

新補助金

平成27年7月 平成27年度高付加価値獲得支援補助金

平成27年9月 平成27年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発

促進事業

◆炭素繊維加工·活用技術展

平成27年9月アメリカ ダラスでのCAMXショー及び10月 に東京ビッグサイトで開催された展示会にて、炭素繊維用自動裁断機等のパネル展示をいたしました。炭素繊維が航空機・自動車等に幅広く使用されるようになったため、切断機各種の拡販と各種業界の情報収集を図りました。



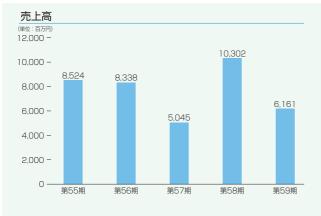


◆平成27年10月 設立60周年記念碑の建立

会社設立60周年を迎え「創造と開拓」の精神を胸に更なる飛躍を誓い、記念碑を故代表取締役会長高鳥王昌の寄付により建立しました。

















株式の状況 (平成27年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	1,782名

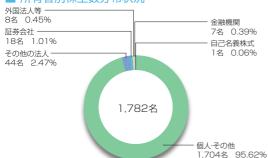
■ 大株主

株主名		持株数(千株)	持株比率(%)
旬 コ ト ブ キ 産	業	380	6.98
髙 鳥 王	昌	344	6.31
タ カ ト リ 共 栄	会	330	6.06
大阪中小企業投資育成	(株)	187	3.43
タカトリ従業員持株	会	157	2.89
井 上 久	雄	126	2.31
高 鳥 政	廣	113	2.08
西 村 幸	子	103	1.90
(株) 南 都 銀	行	95	1.74
日本生命保険相互会	社	94	1.73

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有者別株主数分布状況



会社概要 (平成27年9月30日現在)

- 商 号 株式会社タカトリ
 本 社 奈良県橿原市新堂町313番地の1
 TFL 0744-24-8580 FAX 0744-24-6616
- TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616 ■ 関連会社 ● 株式会社エムテーシー 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-779-4 営 所 九州営業所 熊本県合志市幾久富1909-539 設 立 昭和31年10月 金 963.230千円 資 本 | 代 者 干昌 表 代表取締役会長 髙鳥 代表取締役社長 北村 吉郎
- 従 業 員 219名(顧問・嘱託・パートタイマー除く) ■ 事 業 内 容 電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、機維機械の製造及び販売、機維機械の製造及び販売、機構機械の製造及び販売、機構機械の

大 西 大 介

役員 (平成27年12月22日現在)

■監査役(社外)

■ 代表取締役社長 北村吉 郎 ■取締役副社長 増 \blacksquare 誠 ■ 専務取締役 松 \blacksquare 缸 晴 取 締 役 出 昌 道 取 締 役 出 島 史 幸 ■取締役(社外) 川村 真 ■常勤監査役 大 島 章 良 子 ■監査役(社外) 山田 磯

株主メモ

事業年度毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月

基 準 日 定時株主総会 9月30日

剰余金の配当 期末9月30日

中間3月31日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公 告 の 方 法 電子公告とする。

当社ホームページ (http://www.takatori-g.co.jp)

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公 告による公告をすることができない場合は、日本経済新

聞に掲載して行う。

(ご注意)

- 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

http://www.takatori-g.co.jp





奈良県橿原市新堂町313番地の1